

特殊詐欺を防ぐために 我々ができること

～社会的絆理論～

国士舘大学 Bチーム

調査場所

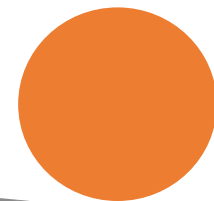
- ・若林・三軒茶屋町会



- ・世田谷警察署



・特殊詐欺ボランティア



・北沢警察署



調査結果を踏まえて、、、

- ・若者を対象にして、発信・活動をしていくこと

この考えに至ったその理由を説明します。

大学生が**加害者**になっている現状

全てではないが、大学生の若者が**闇バイト**等で高齢者の方からお金を騙し取っていると言うケースが現状としてある。

では大学生をこのような犯罪に加担させないためには????

社会的絆理論

社会的絆理論

- 1986年にハーシーが提唱
- 人が犯罪をしないのは**社会との絆**があるからで、絆が弱まった時や、壊れた時に逸脱した行動が起きるという理論です。



大学生と地域の**絆**を深めることができれば、大学生等の若者が**特殊詐欺の犯罪に加担すること**を抑制することができると思います。

具体的な活動

- ・ SNSの活用

多くの大学生が利用しているインスタグラム等のSNSを利用して、自治会のイベント情報やボランティア活動を発信していく。

★イベント参加による大学生にとってのメリットを伝える

Instagramの紹介





まとめ

私たちは特殊詐欺の防止には、大学生と地域の絆を深めることが大切だと考えました。

通学でこの街を利用している大学生は多いです。

そのような大学生に発信をし、大学生の力を使ってみてはいかがでしょうか。